

4月のGlobal Sessionのお知らせ

期日:2022年4月23日(土)午前10:30~12:00

場所:ガレリア3階 会議室

ゲスト:Fellner 真理子さん(オーストリアで日本語教師・現在亀岡在住)

タイトル:「異文化体験をしてみませんか?かめおかで。」

コーディネーター:亀田博さん

参加費:600円(子ども無料:子どもさんもどうぞ)

申し込み:児嶋まで e-mail:Kiyomi-Kojima@gaia.eonet.ne.jp

Tel:0771-23-6579

前回は、2021年10月23日に来ていただき、「異文化の中で育つということとはどんなことか?」というタイトルでお話しをさせていただき、その後、参加者とセッションをしました。

10月のGlobal Sessionのレポートから

「宮良真理子と言います。日本国籍を持っていて、オーストリアでは公式ガイドをしています。40何年ほど前にオーストリアのグラーツへ来てずっと過ごしていました。一度だけ、「オーストリア・グラーツ・まりこ」という宛名で郵便が届いたことがあり、超有名人みたいでびっくりしました。うさぎ年でどのうさぎ年かは秘密ですが。小学校の6年生の時に1963年ですが、アメリカでの国際キャンプ(に参加しました。このキャンププログラムは、1951年に始まったのですが、創始者は、子どもの「戦争が始まったら、また戦争に行かなければならないの?」の質問に驚き、草の根「国際平和運動」の交流できる活動を始めたそうです。その年は、南部のミシシピー州で開催され、6カ国の11歳の子供が集まり、4週間ともに過ごすキャンプでした。普通は11-12カ国が集まりますが、南部で開かれるというので参加国が少なかったのです。1963年というのはマーティン・ルーサー・キングが“I have a dream.という有名な演説をした年です。黒人解放がまだできていない年でしたそれ以来。50年以上経ちますが、今もつながりがあります。50周年日には、もう一度会う機会があり、樫の木の下で集まりました。このときにはいろいろな言葉がそれぞれ話せるようになり、昔のことが話せるようになっていました。「僕は貧しかったので、親がそんなところに行っても大丈夫か?」と心配していたとか。

キャンプの参加後から、私は、「英語をやろう!」と思いました。もともと人と会うのが好きなので、日本では教育学をやりながら、ドイツ語、スウェーデン語、スペイン語など

英語以外にもやりました。その後、同じ会でオーストリアで活躍していたマックスと出会い、結婚し、知らない国に住むことになりました。ドイツ語なので、最初は義父母ともあまり話せず、姑と嫁はどこの国であろうと、その関係は「サボテンのいす」だなどと思いました。「とげがある」ことと、「その上には座れない」のです。

その後、オーストリアで日本語を教えたいと思うようになり、市民大学などで教えたり、大学で

教えたりするようになりました。その後、自分たちの子どもに母親の母語である日本語をどう伝えるかが課題となりました。現在は、継承語教育という分野での研究が盛んになって来ましたが。

私は、自分の子どもに実験をして見て、どうやって日本語をこの子達に伝えるかと考えました。その方法として、

- ① 母親である私は子どもと日本語だけで話す。
- ② 夏休みに日本の小学校に送り、体験学習をさせる。

このようにして現在は、大人になった私の子どもたちは、日本人を見ると日本語で話し、ちがう顔を見るとその言語が出てくるようです。現在三男は、新横浜で仕事をしています。長男と次男はウイーンで仕事をしています。私が子どもたちに日本語で話そうと思ったのは、こまかい心の奥の気持ちを日本語以外で告げることは、難しいと思ったからです。現在子どもたちは継承語である日本語とドイツ語をどちらも話しています。」

その後、真理子さんから、参加者に

「みなさんにお聞きしますが、どんなときに異文化を感じるか？外国に行って最初に何を感じたか？」という質問が出され、ばんばん話合いが進みました。

詳しいことが知りたい人は、見嶋のホームページをごらんください。

ホームページ：<https://office-comjunto.com>

2022年のGlobal Sessionについて

1月23日(日)品田井サフワンさん「僕の言論の自由」 **終了**

2月のGlobal Session(2月20日)は、延期しました。→**6月11日(土) 10:30~12:30**

ゲスト:村田英克さん(JT生命誌研究館:表現を通して生きものを考えるセクターチーフ)

コーディネーター:藤田宗次さん

3月27日(日)10:30~12:00 (ガレリアとオンラインの両方で開催) **終了**

ゲスト:濱田雅子さん(元武庫川女子大教授・アメリカ服飾社会史研究会会長)

タイトル:写真が語るアメリカの民衆の装い(その2)ー1890~60年代の民衆の生活文化を階
間見るー(22回目) GS349 回目

4月23日(土) 10:30~12:00 ガレリア3階 会議室

ゲスト:Fellner 真理子さん(オーストリアで日本語教師・現在亀岡市在住)

「異文化体験をしてみませんか?かめおかで」

5月22日(日) 1:30~3:00

ゲスト:張穎(ちょうえい)さん(京都市で日本語教師・亀岡市の小学校でも:宇治市在住)

6月11日(土)10:30~12:00 ゲスト:村田英克さん

7月:濱田雅子さん 23回目(神戸市在住)

8月:エニ・レスタリさん(インドネシア出身・インドネシア語講師・京都市在住)

9月:玉野井麻利子さん(アメリカ大学名誉教授・京都市在住)

